

窓辺から朝日連峰をながめて。自然素材とともに暮らすおうち



左沢地区、県道27号線沿いから一本入った場所にあるおうちをご紹介します。
現在は暮らしている方がいますが、おうちがほしい方が決まり次第、お引越されるそうです。



1階は車庫&倉庫があり、玄関は2階。階段に沿った花壇のお花をながめれば「帰ってきた～」とほっとします。



撮影した日には、玄関前に紫式部の花が咲いていました。



風除室からのながめ。仕事に行く前にも、お庭の植物からパワーをもらえそう。



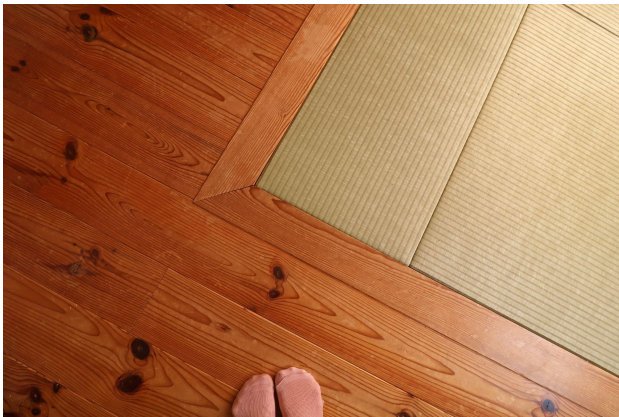
玄関を開けると、吹き抜けやあたたかみのある木の扉が目に入ります。



持ち主さんは吹き抜けや壁面にお気に入りの作品を飾ったり、階段上の空間を活用して雑貨を飾ったりして楽しんでいましたようです。



玄関から左側にはリビング。リビングの床には琉球畳が使われています。



琉球畳が縁がないため、無垢材との境目も自然。リビングの床材は唐松の無垢材を使用しているそうです。



リビングのおとなりにはダイニング&キッチン。
2面採光で明るいオープンキッチンでは、家族のおしゃべりも弾みそう。



広すぎずせますぎず、ちょうど良い大きさのキッチン。



コンロ上部とシンク上部(キッチン側、ダイニング側)ともに収納スペースもありますよ。



玄関ホールからまっすぐの扉を開けると、洗面室とバスルーム。
備え付けの収納があるのもうれしいですね。



うすいブルーグレーを貴重とした清潔感のあるバスルーム。



洗面室とバスルームの隣にはお手洗い。同様のつくりのお手洗いがふたつ並んでいます。



2階の右側には和室がふたつ。
仏間のお部屋は、趣味を楽しむスペースとしても使えそう。



もうひとつの和室は、寝室として使われていたようです。



お次は3階へ。中央には備え付けの大きな本棚が4つ！（写真には写っていませんが、もう2つ本棚があります）。家族がそれぞれ好きな本をたくさんしまえますね。



3階には子ども部屋がふたつ。
備え付けのベッドは下部に収納スペース。下に隠れて本を読んだりしたくなる。



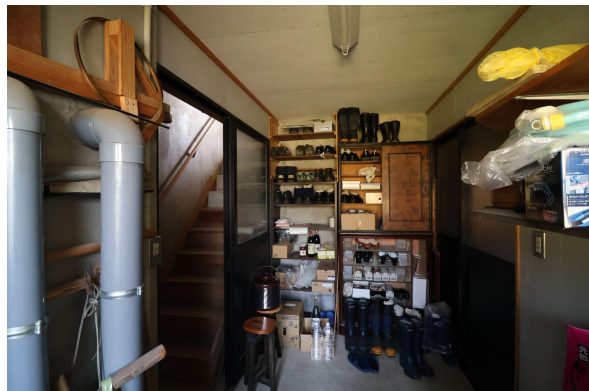
3階の中央部から右側のお部屋。
今は箆笥や収納が置かれていますが、ワークスペースとして使うのも良さそう。



こちらのお部屋の窓の向こうには、晴れた日には朝日連峰の山々が見えるそう。「ほんとうは窓を額縁に見立て、絵画のように山が見えるようにしたかったのですが、設計の都合上難しかったようです」と、山を愛する持ち主さんが話してくれました。



3階の中央にはサンルームもあります。



玄関に降りて、さらに1階の車庫 & 倉庫へ。
倉庫にはカー用品やアウトドア用品などをしまっておけそう。

家族の健康を願い、「できるだけ地元の素材や自然素材を使いたい」という想いで建てられたこちらのおうちは、床下には青森ヒバ(薬剤を不使用)、壁面も布クロスを使ったそう。

できるだけ自然に近く、家族にも地球にもやさしく。
そんな暮らしと想いを、このおうちで受け継いでみませんか。